

指定校番号	28042	学級活動	○	児童会・生徒会活動	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	---	-----------	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	大竹市立大竹小学校	校長	小西 啓二	生徒指導主事	村重 健一
-----	-----------	----	-------	--------	-------

**取組事例名 『小学生やりきり清掃体験』**

**取組のねらい『キーワード 小中連携』**

- ・ 6年生児童が、大竹中学校の掃除の仕方（「やりきり清掃」…時間を守って集合・無言清掃・床を磨く・気づき掃除・きちんと片付け・がんばりを評価）を学び、それを下級生に教えることで小学校の掃除のレベルアップを図る。
- ・ 校内における掃除リーダーとなることで、6年生児童のリーダー性と自己有用感を高める。
- ・ 小中での掃除交流を通して、生徒・児童の親睦を深め、中1ギャップ解消の一助とする。

**取組の具体的内容『キーワード 学んだことを伝える』**

- ・ 4月に6年生児童全員に掃除時間のきまりや約束を再度確認して指導した後、ビデオで大竹中学校の掃除の様子を紹介する。（学級活動1時間）
- ・ 5月に6年生全員が中学校に行き、中学校の縦割り班に2～3名ずつ入って、中学生と一緒に15分間清掃をしながら、中学校の「やりきり清掃」を学ぶ。（学級活動1時間）



- ・ 5月末からは、6年生が小学校の各そうじ場所で「掃除リーダー」となり、中学校で学んだことをもとに、下級生に掃除のやり方を教えたり、反省会で下級生をほめたり、アドバイスをしたりする。6年生は学期ごとに担当の場所を変えて、「掃除リーダー」を経験する。（日々の掃除時間）

**取組の課題・創意工夫 『キーワード 6年生のやる気アップ』**

**【課題】**

- ・ 6年生が中学校の掃除を体験するのが1回だけなので、小学校での「掃除リーダー」の活動で少し中だるみを感じてしまう時期がある。中学校の体験入学や入学説明会などの際にも中学生の掃除の様子を見学したり、中学生と一緒に掃除をしたりする機会がもてるとよい。
- ・ 普段の掃除時間において、無言清掃の徹底というところには至っていない。

**【創意工夫】**

- ・ 小学生が掃除体験の感想を書いて中学生に渡し、中学校の全校朝会で紹介してもらう。
- ・ 各そうじ場所のふりかえりカードを用意し、毎日の掃除時間終了後に担当教諭からサインとコメントをもらう。
- ・ 毎月末、担当教諭が掃除リーダーに対する評価をして、担任に伝える。
- ・ 年度末に、下級生が6年生の掃除リーダーに感謝の手紙を書いて渡す。

### 取組の成果（効果）『キーワード 掃除に対する意欲の向上』

- ・ 中学校の掃除に学び、「掃除リーダー」になることで、6年生児童の掃除に対する意欲や態度が前向きになっている。また、掃除場所に6年生がいることで、下級生の中でも掃除をがんばってやろうとしている児童が増えており、気づき掃除をしようとする児童が増えるなど、掃除を頑張るという雰囲気ができつつある。
- ・ 学校評価アンケートの児童アンケートによると、「掃除をだまって時間いっぱい一生懸命しているか」という項目に対して、肯定的に答えている児童が95%を越えている。



### 今後の展開『キーワード 継続と浸透』

- ・ 今後も引き続き、小中連携の一環としてこの取組を継続していく。
- ・ 中学生に小学生の掃除の様子を見て評価してもらったり、中学生の掃除の様子をビデオで撮影したものを6年生以外の児童にも見せる機会を設定したりするなどして、小学生の意識の向上と掃除のレベルアップを図る。

### 他校へのアドバイス『キーワード 中学生に学ぶ』

- ・ 大竹中学校では縦割り班による「やりきり清掃」の徹底が数年にわたって継続されている。中学生に小学生が学び、小学校と中学校とで掃除のやり方や約束を揃えていくことで、小学生の掃除のレベルアップが期待でき、中学校への移行もスムーズになる。